

# 不祥事根絶のための行動計画

【不祥事根絶に向けた本校の決意】(行動基準)

現状維持は後退である。  
「日々改善」

福山市立道上小学校

作成責任者 校長 桑田 貴子

区分	本校の課題	行動目標	取組内容	点検方法・時期
①教職員の規範意識の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>○時間外在校等時間45時間以内の徹底</li> <li>○個人情報の管理・徹底</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○退校時刻の10分前には帰宅準備をする。</li> <li>《本校での重点項目》</li> <li>★机上整理</li> <li>★個人情報の適正管理(持ち出し簿による届け出の徹底)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○仕事に対する自己調整力をつける。</li> <li>○1週間の時間外在校等時間10時間以内にする。</li> <li>○帰宅前の机上整理を習慣化する。</li> <li>○文書持ち出しや個人情報の取り扱い等、職場で決めたルールを確実に守り切る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学年主任が月ごとに現状把握・改善点の報告</li> <li>○個人情報管理の啓発を適時、継続的に行う。</li> </ul>
②学校組織としての不祥事防止体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>○初期対応への不安</li> <li>○教職員がお互いに、不祥事を許さないという風土の醸成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○組織的な取組にしていくために、悩みや困ったこと等は、すぐに相談する。 学級担任→学年主任→生徒指導主事→教頭→校長</li> <li>○不祥事防止に向けて教職員同士のコミュニケーションを促進させ、職場のネットワーク、雰囲気作りを通して、日頃感じていることが出し合える職場環境を築く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校務分掌に応じて研修計画・担当者を随時見直し、全職員が取組・研修の内容の企画・運営に関われるよう担当者を決める。</li> <li>○随時、ケース会議を開く。</li> <li>○できていること・よくなってきたことを相互に確認し合い、言葉で伝え合う。</li> <li>○各学年、各分掌で連携し合い、組織的な運営を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学年会・学年主任会・企画委員会で情報交換を行う。</li> <li>○月1回の不祥事防止委員会で、情報交換を行い、児童の状況把握に努めるとともに、必要な事項は暮会等で全職員に周知する。</li> </ul>
③相談体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「SC(スクールカウンセラー)」「SSW(スクール・ソーシャル・ワーカー)」の周知と利用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校だよりで、SCの日程周知と相談への連携</li> <li>○SSWの校内巡回・相談</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童や保護者にSCについて紹介し、気軽に相談できる窓口であることを周知する。</li> <li>○教育相談窓口・相談先を記載したポスターを、児童が教育活動を行うすべての場所に掲示する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○相談日・相談内容については、カウンセリングノート等に記録し、担任との連携を図る。</li> <li>○学期毎に児童、保護者を対象にアンケートを実施する。(いじめ・体罰・セクハラ)</li> </ul>